

【所属名：教育委員会文化振興課】

【会議名：平成26年度第2回糸魚川市文化財保護審議会】

## 会 議 録

作成日 平成27年1月28日

日	平成27年1月27日	時間	13:25 ~ 16:00	場所	糸魚川市役所 202 会議室
件名	報告(1) 名勝「親しらず」の追加指定について (資料1) (公開) 報告(2) 青海川の硬玉産地及び硬玉岩塊保存管理計画の策定について (資料2) (公開) 報告(3) 小滝川硬玉産地保存整備事業について (資料3) (公開) 報告(4) 寺地遺跡復元住居改修工事について (資料4) (公開) 報告(5) 文化財防火デー関連事業について (資料5) (公開) 報告(6) 文化財解説板等の修繕について (資料6) (公開) 報告(7) 埋蔵文化財の調査について (資料7) (公開) 報告 その他 長野県神域断層地震による市内指定文化財の被害状況について ほか (公開) 議題(1) 文化財の指定について (1) 白山神社の宝剣について (資料8) (公開) 議題(2) その他 (公開)				
出席者	【出席者 9人】 金子会長、松野副会長、井伊委員、五十嵐委員、小川委員、室川委員、山崎委員、吉倉委員、吉田委員 【欠席者 1人】 野紫木委員 【事務局 6人】 竹田教育長 文化振興課 佐々木課長、木島課長補佐、山岸学芸専門員、小林主査、高津主査				
	傍聴者定員		一人	傍聴者数	0人
<b>会議要旨</b> 開会 (13:25) 1 あいさつ (佐々木課長) ・当市内に文化財は多数あるが、それら文化財の活用となると不十分な所もある。委員の皆様から指導いただきながら、活用についても取り組んでいきたい。 (金子会長) ・午前中は文化財防火デーの巡検があった。参加した方はお疲れ様でした。文化財の保護・保存について、最近では人災のみならず天災が増えてきた。津波、火災、地震など。長野県北部で起こった地震では谷村美術館の仏像が被害を受けた。天災はいつ起こるかわからない。緊張感を持って文化財の保護・保存にあたっていただきたい。 【委員】 次第を見ると報告事項がかなりあるので、進行を変更して議題を先に審議したいがいかか。 (一同意義なし)					

## 2 議題

### 1 文化財の指定について

#### (1) 議題(1)について

##### 【事務局】説明

##### 質疑

【委員】資料は「指定理由」ではなく「解説文」となっているが、指定理由ではないと考えてよいのか。

【事務局】文化庁の表記に統一しているもので、「解説文」＝「指定理由」と読み替えていただいでよい。また次回審議会に諮問する際の資料では、市条例に則った形で表現を変更したい。

【委員】鑑定書はとっていないのか。

【委員】とっていない。(宇多派の刀剣に詳しい) 森氏、山氏の押印のあるコメントはある。(銃砲刀剣類の) 登録証はある。

【委員】登録証＝鑑定書と考えてよいのか。

【事務局】登録証は美術的な価値について保証するものではない。森、山氏の専門家のコメントが鑑定書のようなものと考えてよい

【事務局】専門家のコメントによれば、宇多派の太刀というものはあるが、宝剣はほとんどない。ひょっとしたらこれ1本かもとということで、そういった所を肉づけして、宇多派についての説明を指定理由に加えることは可能と考える。

【委員】これは奉納されたものか。神社のどこかに飾られていたのか、実際に神事に使われていたのか。

【委員】誰がいつ奉納したかなど詳しいことは不明。神社に飾られたり、神事に使われたりということではなく、他の宝剣とともに永らく保管されていたもの。

【委員】火渡りの神事の時など、剣で魔法切りとか悪魔払いをすることがあるから、そういった神事的な使われ方があったのかと想像した。

【委員】修験でそういった使い方をするというのは聞いたことがある。

【委員】素人としては、銘により古い剣だということしかわからない。しかしそういった意味では「宝剣」の「宝」という字は大事になってくる。この年代の剣は各地にたくさんあるのか。県内の状況は。

【委員】太刀はあるが、剣は少ないようだ。(この剣は) 白山大権現が隆盛を極めていたころのものだと思う。

【委員】修験者のルートはどういうルートだったのか。

【委員】天津神社の神宮寺の宮司は能登から糸魚川へ来ていたと聞いたが。

【委員】能登から来て、能登へ帰って行った。東北との交流は無かったと思う。

【委員】この剣は武器ではないのか。太刀とは全く別物と思うが、宝剣というのはいつ頃から何に使われていたかを調べてほしい。剣の起源について。

【委員】もともとは武器であったと思うが、剣の歴史は古く、一般的にはステイタスシンボルとして用いられていた。

【委員】錆がずいぶんひどかったが、磨いても状態が良く、地金がすばらしいと思った。それだけいい材料を使っていたんだと思う。

【委員】誰が研いだか。

【委員】森氏から紹介を受けた研ぎ師に依頼した。

【委員】歴史的な背景から「宝剣」といってもよい。白山神社に書き物はあるか。

【事務局】白山神社に残る書き物には「宝剣」の記載があるが、この剣のことは不明。  
次回までに詳しい資料をそろえておきたい。

休憩（14：50～15：00）

### 3 報告

(1) 報告事項（1）について

【事務局】説明

質疑なし

(2) 報告事項（2）について

【事務局】説明

質疑なし

(3) 報告事項（3）について

【事務局】説明

質疑

【委員】学習護岸の下流の末端に「この先危険なので立入禁止」の看板がずっとあり、景観を乱している。

【事務局】現地は法枠が入っていたり、その下の洗掘が進んでおり非常に危険なため、県が設置したもの。

【委員】観光客にはああいう看板は見せたくない。荒れ果てている感じがある。何とかならないか。

【事務局】今回の整備は1次整備で、このあとふとんかごの改修工事などがあつた際、学習護岸の遊歩道を下流の方まで伸ばすという2次整備の計画もある。

【委員】水管橋のところには人を入れないのか。観光客は上流だけを見て帰るが、本当にいいところを見ていない。

【事務局】現地は非常に危険なため、現段階で人は入れられないが、展望台のところから駐車場1まで周遊できるよう床サインや道標の設置をする。

【委員】左岸を周遊できるようにしないと意味がないのでは。

【事務局】第2次整備計画ではそうなっているが、橋が渡せるかどうか検討が必要。現地は地滑りの突端で年間10cm程度滑っている状態。

【委員】色々な問題を排して周遊できることを追及してほしい。今時行き止まりの観光地はない。

【委員】年間3万人程度現地を訪れるようだが苦情などないか。

【事務局】瀬野田から入るルートが毎年落石などで通行止めになる。直接苦情があるわけではないが観光など案内に苦慮している。

【委員】高齢の方が、高浪の池の一番高いところの展望台からここまでくるのが一番狭くて怖いと言っていたのを聞いたことがある。

【事務局】地元からも意見があるので、道路の拡幅等については商工農林水産課が対応していくことになると思うが、当課としては道路はかまえないので、駐車場1のところの侵入路の一部改良を行う。

【委員】展示用のヒスイはたたかれないか。

【事務局】秋に設置したが、若干そういった痕跡がある。

(4) 報告事項（4）について

【事務局】説明

質疑

【委員】 駐車場はどうなっているか。

【事務局】 トイレのところに1台分と西側の防火水槽の上が駐車場というわけではないが、市有地なので駐車可能。

【委員】 茅で葺いているが葦ではだめか。

【事務局】 東北の震災以降、葦の方が手に入らない。

【委員】 住居床がコンクリートだったと思うが、あれはいいのか。

【事務局】 整備当時、文化庁も指導に入っているので当時はあれで許されたのだと思う。復元住居ではなく、平面表示も可能と考えている。

(5) 報告事項 (5) について

【事務局】 説明

質疑なし

(6) 報告事項 (6) について

【事務局】 説明

質疑

【委員】 山口関所跡のところの大きい解説板が壊れているが、修理か撤去かが必要では。

【事務局】 看板を建てた経緯は不明。「根知プロジェクトZ」という団体が立てたと思われるが、今は団体が無いといった状態で、改修が遅れている。

【委員】 地元で建てたものなら、管理も地元でやってもらいたい。困ったから市でと言われても、市がどうにかすべきではない。

【委員】 景観を乱しているし、だいぶ前からひどい状態。少し上には市が立てた地図付きの解説板があるし、とるならとったほうが良い。

(7) 報告事項 (7) について

【事務局】 説明

質疑

【委員】 「番所跡」と「関所跡」の違いは。

【事務局】 遺跡名は「番所跡」、指定名称が「関所跡」と理解していただけるとよい。

【委員】 平成26年度と平成27年度調査の違いは。

【事務局】 平成26年度は、地下の様子が全くわからない状況での調査。家を建てたときの基礎でどれくらい遺跡が傷んでいるか、また家の基礎に使用されていた石がかつての番所の建物の基礎の可能性はないかなど、不明な状態。そこで今年度は部分的に深く掘り、様子がわかったため、平成27年度は面的に調査を進め、番所の建物の基礎跡など調査予定。

(8) その他について

【事務局】 長野県神域断層地震による市内指定文化財の被害状況について口頭説明。

地震翌日建造物、彫刻所有者を中心に55件の文化財被害状況を電話確認。うち来海沢の「松沢家住宅」のみ被害あり。

質疑なし

【事務局】 白山神社の文化財収蔵庫内での白カビの発生状況について口頭説明。

白山神社の文化財収蔵庫は自然調湿機能などをもつ先進的な施設で、文化庁の環境調査が入っていたが、最終の調査の際、国指定文化財の船絵馬展示品9点のうち3点にカビの発生が確認された。1/23に文化庁からカビの処理について指示を受け、昨日白山神

社から「3月末までに105,000円でカビ処理と残り95件すべての文化財について確認をしてもらう予定」との報告があった。

質疑

【委員】カビの原因は。

【事務局】去年、収蔵庫内のプレーカーが落ちて、ルームドライヤーなどが作動していない時期があった。停電などは無かったと思われるので人為的な原因といえる。

【事務局】京都国立博物館所蔵の長者ケ原遺跡出土の縄文土器について口頭説明。

京都国立博物館が所蔵する長者ケ原遺跡出土の縄文土器5点の内、深鉢1点について、今年度レプリカを製作する。

質疑なし

4 その他

【委員】先日指定した物件について、広報に掲載して市民に広く周知してほしい。

5 あいさつ

【委員】議題で次回までに調べてほしいと意見が出た部分について、事務局はよろしくお願ひしたい。

－閉会－（16：00）